

福生市議会だより

FUSSA

No. 122

発行 福生市議会
平成10年10月25日
〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)

平成10年 第3回定例会

平成九年度

各会計決算を認定

五日間にわたる熱心な審議

と陳情の審議が行われ、それぞれ各委員会に付託されました。また、当日追加された議案「北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議」は可決されました。

提出議案二件は可決され、また、陳情一件は委員会に付託され今定例会は終了しました。

主な内容

可決等された案件	2面
討論・決算	2～3面
一般質問	4～7面
委員会の審査・陳情	8面

定例会の日程

8月	25日 議会運営委員会
9月	2日 会期の決定 一般質問
	3日 議会運営委員会 一般質問
	4日 一般質問 議案審議
	8日 平成9年度一般会計 決算審議
	9日 平成9年度一般会計 決算審議
	10日 平成9年度一般会計 決算審議
	14日 道路交通問題対策特 別委員会
	16日 建設委員会
	17日 厚生委員会
	18日 総務委員会
	25日 議会運営委員会
	29日 議案の審議 委員会審査報告等 議会運営委員会

平成十年第三回定例会が、九月二日から二十九日までの二十八日間の会期で行われました。今回の定例会では十五人の議員による一般質問が行われ、「平成九年度一般会計決算認定について」を初めとする議案及び「消費税の減税を求め陳情書」等の審議が行われました。

本会議の経過

第一日目(二日)は、会期の決定等の後、六人の議員による一般質問が行われました。第二日目(三日)は、前日に引き続き六人の議員による一般質問が行われました。第三日目(四日)は、前日に引き続き三人の議員による一般質問が行われた後、議案

「北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議」は可決されました。また、「平成九年度福生市一般会計決算認定について」を初めとする五議案に対し反対、賛成の討論が行われ、起立採決の結果、原案のとおり可決等されました。

その後、追加された「議員と陳情の審議が行われ、それぞれ各委員会に付託されました。また、陳情の審査報告が行われ、いずれも報告のとおり可決等されました。特に、「平成九年度福生市一般会計決算認定について」を初めとする五議案に対し反対、賛成の討論が行われ、起立採決の結果、原案のとおり可決等されました。

北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議(全文)

八月三十一日北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)から事前の通告もなく発射された弾道ミサイルは、日本列島上空を横断し三陸沖に着弾した。この三陸沖は、我が国の漁船の操業範囲でもあり、日本国民に大きな衝撃を与えた。

よって、福生市議会は政府に対して米韓両国初め関係国と連携しつつ、北朝鮮に対して遺憾の意を伝え、ミサイルの開発、発射、輸出の中止を求めるとともに、必要適切な措置を講じられるよう強く要望する。

これは、我が国の主権と安全を脅かす極めて由々しき行為であり、このような非友好的な暴挙を絶対に容認することはできない。

右、決議する。
平成十年九月四日
福生市議会
内閣総理大臣、外務大臣、
防衛庁長官、自治大臣 殿

意見書を提出

次の意見書二件を平成十年九月二十九日付、関係各機関(内閣総理大臣、通商産業大臣、建設大臣あて外)に提出しました。

住宅都市整備公団改組に際し、既存賃貸住宅居住者の居住安定の保障を求める意見書(要旨)

一 建て替えや新規住宅の高

ものづくり基盤技術振興基本法の早期制定を求める意見書(要旨)

企業の海外移転による産業の空洞化や若年層のものづくり離れの中、製造業を支えてきた基盤技術の衰退が懸念され、その継承が困難である。今後の健全な発展のためには、ものづくり基盤技術の社会的評価を高めることが不可欠である。

総合的・計画的推進のための「ものづくり基盤技術振興基本法」早期制定に向け、積極的な対処を要望する。



▲秋晴れの午後のひととき
スポーツフェスティバルで汗を流す参加者
(10月10日 多摩川中央公園にて)

可決等された案件 (要旨)

◆福生市地域会館条例の一部を改正する条例
学童クラブ条例との重複部分を削るもの。

◆福生市児童館条例の一部を改正する条例
学童クラブ条例との重複部分を削るもの。

◆平成十年度福生市一般会計補正予算(第二号)
二億千八百二十五万七千円の追加。歳入では地方交付税、繰越金及び市債で特別減税による補填債の追加。歳出では前倒し事業の追加、九年度実績に伴う精算、補助金の決定に伴う新規事業の追加、資源物収集運搬委託業者の辞退に伴う委託料の減額、負債の繰上償還のための追加等。

◆平成十年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)
七千二百二十三万七千円の追加。歳入では前年度繰越金の精算、歳出では平成九年度分の医療費精算に伴い、返還金が生じたため諸支出金を増額して残額を準備費とする。

◆平成十年度福生市下水道事業会計補正予算(第一号)
三千三百五十万一千円の追加。平成九年度決算に基づく繰越金に関する補正をするもの。

◆多摩川排水区H-10その一工事請負契約
大成・田村建設共同企業体と制限付き一般競争入札による雨水幹線の工事契約を締結。

◆福生市学童クラブ条例
学童クラブを法的に位置づけられたことに伴い条例を制定するもの。対象年齢を拡大、開所時間を六時までとし、育成料として月額四千円を負担いただく。

決算認定関係の議案

(下段の討論及び三面をご覧ください。)

◆平成九年度福生市一般会計決算認定について

◆平成九年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

◆平成九年度福生市老人保健医療特別会計決算認定について

◆平成九年度福生市下水道事業会計決算認定について

◆平成九年度福生市受託水道事業会計決算認定について

議員提出議案

◆北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議

◆住宅都市整備公団改革に際し、既存賃貸住宅居住者の居住安定の保障を求める意見書

◆ものづくり基盤技術振興基金法の早期制定を求める意見書

討論

今定例会の二十九日、「平成九年度福生市一般会計決算認定について」を初めとする五議案に対して、賛成、反対の討論が行われ、いずれも認定等されました。
ここでは、一般会計決算認定における討論の要旨を掲載しました。

賛成

八年度より厳しい歳入状況であったが、夜間・休日の訪問徴収、納税窓口の開設など種々の事業を実施して徴収率向上を図り、多摩二十七市中二十五番目まで収納率を引き上げた。また不良債権問題にも公平の原則に立ち、今後とも一層の努力をお願いしたい。

歳出関係では高齢化、少子化、国際化、情報化に数々の分野で対応が図られ、その中でリサイクルセンターの稼働により、ごみ、環境問題に関する数々の事業が期待される。野台図書館における人気のビデオ貸し出し、福祉面では福祉センターが福祉の拠点として重要な役割を果たし、内容の充実が図られており、ボランティア育成も進み、市民に理解されてきている。

ほかにも努力が見られる決算であり、審議の中でのチェックポイントが新年度予算に十分反映されることを期待し賛成する。

賛成

製造、物販等すべて低迷し倒産件数はふえ、人員整理、資産売却など大不況の中、金融不安の解決も全く見えず、自治体でも行政運営の黄信号が出ているが、当市の九年度決算では経常収支比率の改善等比較的堅実な推移が見られた。歳入では消費増税の廃止があったが、基地関係経費に伴う地方交付税の大幅増、都支出金では西口駅前通り、保健センター施設への補助金など、国、都から一定の財源の確保が得られた。歳出では保健所用地・建物の取得、公園新設、自転車駐車場建設、都から移管された母子保健事業実施、高齢者住宅サービスセンター運営委託等多岐にわたる市民生活充実の新規、レベラアップ事業がなされた。

環境が大変厳しい折、行政改革に積極的に取り組み、経常経費の抑制を図り、自主財源の収納率アップの努力をされた。また市民パワーの行政運営への効率的参加の道を図るとともに、市民のため精一杯の努力を期待し賛成する。

賛成

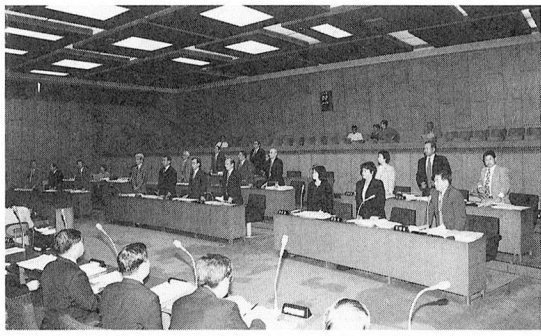
バブル経済崩壊後、景気が低迷し厳しい中で起債の長期的、計画的運用、基金の取り崩し等で市民要望にこたえ、福祉向上を図っていることは評価に値する。財政力指数が低く、自主財源の少ない中で市税の徴収率は前年度比〇・一ポイント増となった。地方交付税も増となったが、厳しい環境の中、経常収支比率は下がり、今後とも創意工夫で効率的な健全財政の維持が望まれる。

反対

国は消費税5%への引き上げ、特別減税の打ち切り、医療保険制度の改悪等戦後最大の負担増を国民に図り長引く不況をさらに悪化させた。また市は自転車等駐車場有料化による負担増を含め、不況で苦しむ中小工商业者への前進した施策は何一つなく、市民に背を向けている。一方、田園西土地区画整理事業には三十億円もの金額を投入するとしている。また都内で最も高い不登校児の発生率である当市の教育分野も大変深刻な状況であり、中学校給食を実施すべきという答中にも背を向け、保護者へ多くの負担を押しつけている。八基金の総額百十三億円という積立金は相変わらず三多摩で第一位であり、お金をためることに熱心で福祉、教育は他市水準に達していないことがはっきり出ている。以上を指摘し、横田基地の存在による財政的影響、返還後の跡地利用計画など今時点でも取り組むべきことに一刻も早く取り組むよう強く申し上げ反対する。

議会日誌

7月	2日 全国市議会議長会基地協議会関東部会役員会	19日 西多摩地区議長会臨時会議
9日 平成9年度決算審査(17日まで)	24日 例月出納検査	25日 総務委員会
14日 議会運営委員会(市議会だより編集会議)	27日 議会運営委員会	27日 東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合協議会臨時会
15日 全国市議会議長会基地協議会役員会	27日 全国市議会議長会基地協議会(政府予算要望実行運動)	27日 農業委員会
16日 首都圏中央連絡道路建設促進協議会	27日 平成10年第3回定例会	
21日 東京都町村総合事務組合協議会臨時会	27日 平成10年第3回定例会	
27日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会	3日 平成10年第3回定例会	
28日 農業委員会	3日 平成10年第3回定例会	
28日 東京都市議会議長会正副会長会議	4日 平成10年第3回定例会	
三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会	8日 平成10年第3回定例会	
多摩地域都市モノレール等建設促進協議会、三鷹・立川間立体化	9日 平成10年第3回定例会	
復々線促進協議会総会	10日 平成10年第3回定例会	
30日 八高線八王子・高麗川間複線化促進協議会総会	10日 平成10年第3回定例会	
例月出納検査	14日 道路交通問題対策特別委員会	
31日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会	16日 建設委員会	
8月	17日 厚生委員会	
3日 横田基地対策特別委員会(防衛補助事業要望運動)	18日 総務委員会	
5日 群馬県吉井町議会視察来市	24日 農業委員会	
6日 東京都市議会議長会定例会	25日 議会運営委員会	
11日 西多摩地域広域行政圏協議会審議会	28日 例月出納検査	
12日 多摩川上流流域下水道	29日 平成10年第3回定例会(7日)	
	議会運営委員会(市議会だより編集会議)	



▲平成9年度一般会計決算は起立多数で認定

平成9年度 決算の概要

一般会計決算の審議から

それぞれの割合と金額は。

自主財源等の割合を 聞きたい

問 自主財源と依存財源の割合、一般財源と特定財源の割合、経常収支比率などの二十七市中の位置は。

答 自主財源が四十七・九％、依存財源が五十二・一％で二十七番目である。一般財源が六十七・二％、特定財源が三十二・八％で二十七市中二十三番目である。経常収支比率は八十三・四％で二十七市中二十五番目である。

市税の徴収率 なぜ低いのか

問 徴収率が二十七市中毎年下位に低迷しているのとことだが、いつも下位になっている理由を伺いたい。

答 調定額全体に占める滞納繰越分の割合が大きく影響しており、徴収率を上げるためには滞納繰越分を解消していくことが重要だと考える。

基地交付金の 額を聞きたい

問 基地交付金で横田基地の資産価値は幾らになっているか。横田基地を構成している六市町のそ

地元負担でどういう割合になっているか。
答 補助金は都から二分の一、残りの半額ずつを市、地元で負担している。

地域防災計画の 見直し等どうなったか

問 防災会議で地域防災計画の見直しについて議題となっているが、どのような内容だったか。直下型地震の被害想定、備蓄品の状況についてどんな議論になったか。

答 職員による検討委員会を設置したので、結果の内容を説明、今後の防災計画の改定のスケジュール等を説明して了解いただいた。直下型地震の内容は、東京都防災会議が発表したもので、マグニチュード七・二を想定し、さまざまな被害想定は拡大している。備蓄品は食料、毛布、簡易トイレ、防水シートなどで、今後も被害想定と地域防災計画の見直しに合わせて、備蓄していきたい。

清掃日より発行の 効果は

問 清掃日よりは何回ぐらい発行しているのか。清掃日よりを発行したことによる分別などへの効果は。収集方法を変える動きがあるが、収集場所にポールがあるために収集後にごみを出してしまう人がいるので、撤去した方がいいのではないか。

答 年に三回発行している。平成九年度は前年に比べて市民一人当たりのごみの量が一・二％減となり、効果があったと見ている。収集場所のポールの撤去については検討していきたい。

街路灯取替え工事の 負担割合は

問 銀座商栄会装飾街路灯取替工事の補助率は、都、市、

り、養護老人ホームで三人いる。この二十九人の待機者について現状は少なくなっているのか、増えているのか。最長の待機者の期間はどのくらいか。
答 八月末現在三十名で、人の入れかわりはあるが、人数的にはほぼ同様な状況である。最高は一年ぐらい待っているかと思うが、早い者が先というのではなく、状況に応じた対応をしている。

小・中学校の補助 材費等の父母負担は いくらだったか

問 小学校と中学校の補助材費の内容と父母負担の額、修学旅行の負担額は。

答 補助材費は小学校で一人当たり三千二百円、中学校は一人当たり五千七百円、父母負担額は七千七百八十八円である。修学旅行の負担額は小学校で七千五百円、中学校で七千五百円、父母負担額は七千五百円、未納金額は二百四十五万円である。

額は小学校で七千円、中学校一万五千三百円である。二年生の移動教室は四千四百円である。

学校給食費の 未納状況は

問 学校給食会計収支決算の未納件数と未納金額は。

答 未納件数は七百五件、人数では八十九人、六十九世帯。未納金額は二百四十五万円である。

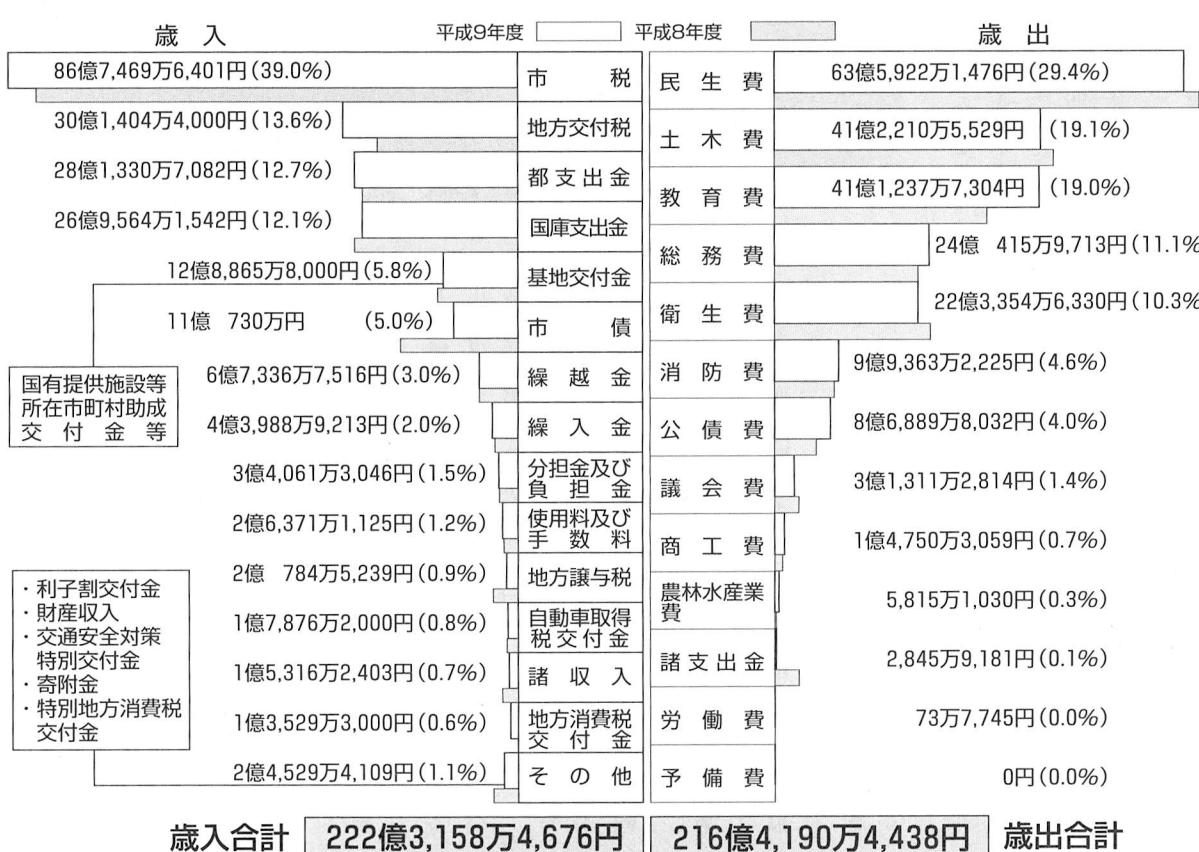
問 図書館運営費の夜間開館管理委託料について説明願いたい。

答 中央館が水・木曜は七時まで夜間開館しており、館内・外の巡回、電話の受け付け等シルバー人材センターに一日九百二十円、二時間半で八十五日間お願いしている経費である。

平成9年度各会計決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額(翌年度繰越額)
一般会計	222億3,158万4,676円	216億4,190万4,438円	5億8,968万 238円
特別会計			
国民健康保険特別会計	31億7,702万5,078円	30億6,578万7,628円	1億1,123万7,450円
老人保健医療特別会計	27億1,163万1,670円	26億7,463万9,521円	3,699万2,149円
下水道事業会計	26億9,406万5,570円	26億4,056万4,489円	5,350万1,081円
受託水道事業会計	8億2,542万9,683円	8億2,542万9,683円	0円
総合計	316億3,973万6,677円	308億4,832万5,759円	7億9,141万 918円

平成9年度一般会計決算の内訳



一般質問

(要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、十五人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にたどしました。四七面にその主な項目を掲載しましたが、紙面の関係から、すべての項目が掲載できません。詳しくは、会議録を図書館でご覧ください。なお、この一般質問の内容は、質問議員に確認をしております。

雨水幹線完成後の

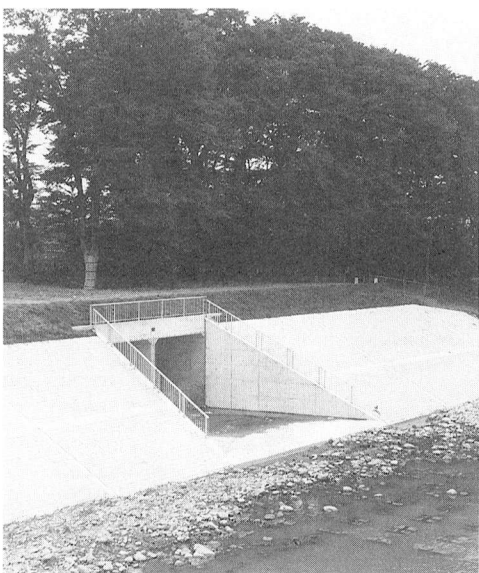
都市下水路の役割は

小嶋英男 議員

質問 ①当市は早くから近隣市町とともに都市下水路に着手し、現在は雨水等の被害も少なく、防災に強いまちになった。現在工事中の多摩川上流雨水幹線の完成で、さらに防災に強いまちになると期待されるが、現在使用している都市下水路の設置経過と今後の役割を伺いたい。

の毒物混入事件後に起きたのであれば大変な騒ぎになったものと思われる。事故の原因究明や安全性、住民対策等は速やかに行われたのか伺いたい。

市長 ①青梅市、羽村市、福生市で組織する都市下水路組合は、昭和三十六年に設立、同年事業着手し、昭和四十二年に総延長七千メートル余の都市下水路を完成した。その後九百五十九ヘクタールの雨水・工業排水等を集水し、多



▲永田橋下の多摩川上流雨水幹線、はけ口部分は今年8月に完成

集中豪雨時の溢水防止に努めているが、雨水幹線完成後は福生地域の都市下水路については雨水管として利用していきたい。

②多摩川の白濁した水の流出についての事故原因は、武蔵野台の工場で製品に使用する天然ゴムの原料を移しかえる際、ポンプの破損で道路側溝から雨水管に流れ込んだものであった。

水質検査の結果、有害物質は検出されなかったが、漁業関係者等市民に御迷惑をおかけした。処置としては雨水管に流出しないよう工場内部の改善を施すよう指導した。

インターネットで

イベント情報の発信を

清水信作 議員

質問 ①西多摩地域の四市三町一村で構成されている西多摩地域広域行政圏の協議会は、情報通信基盤の整備に、参加市町村で本年十月を目標にインターネットのホームページ同時開設を進めているが、当市における進捗状況を伺いたい。

②協議会の共同事業として十一月十五日に体協連絡協議会との共催で、あきる野市、日の出町、檜原村で体育大会を開催、十二月三日から十七日は小中学生の作品による西多摩美術展を青梅市立美術館で開催、平成十一年一月二十一日にはレニングラード国立バレエの開催。その他青梅線、五日市線及び八高線改善のため、去る八月にJRの八王子支社長へ要望活動を行った。

市長 ①市町村相互間の連携を基本に情報通信基盤整備と地域振興の観点から、時代の要請でもあるホームページ「西多摩ネットワーク」を開

う集中豪雨時の溢水防止に努めているが、雨水幹線完成後は福生地域の都市下水路については雨水管として利用していきたい。



▲毎年、各種パレードで賑わう「ふっさ桜まつり」

シルバー人材センターで「おさらい塾」はできないか

林田 武 議員

質問 先般、NHKテレビで、足利市シルバー人材センターの新しい事業として、小学校の先生が、学校の授業についていけない市内の子供を集めておさらい塾を開校した。それは進学塾というかたちではなく、あくまでも国語と算数の苦手な子供にベテランの元先生が、つばを心得た教え方でおさらいをする補習授業の塾で、子供や親たちから大変喜ばれ、好評であるとの放映があった。

さらにお年寄りの先生と孫みちな子供たちとの触れ合いは教育的見地からも、広い意味での子供たちへの人間形成から成果が大きいといえることである。

当市でもシルバー人材セ



▲館林市ではシルバー人材センター内で低学年のための「おさらい教室」を開いている

一般質問項目

(質問順)

小嶋英男 議員

- 都市下水路について
- ①設置経過と今後の役割について
- ②工場排水流出事故について
- 有料化された自転車等駐車場の現況について
- 都市基盤整備について
- ①新奥多摩街道の大型車通行の状況について
- ②都市計画道路3・4・2号線(多摩橋通り)の拡幅計画の進捗状況について

清水信作 議員

- 西多摩広域行政圏事業について
- ①インターネットホームページ開設の進捗状況について
- 医療行政について
- ①福生市の医療計画と福生病院の位置づけについて
- ②休日、準夜診療所に薬局を設置することについて
- 窓口業務のサービス向上について
- ①ロープサービス係の配置について
- ②休日、時間外の窓口業務について
- 市内地区名と地番の整備について
- ①町会名と地域名との一体化について
- ②地番を整理することについて

吉沢嘉翁 議員

- 西多摩広域行政圏協議会の事業内容について
- 林田 武 議員
- 高齢者福祉行政について
- シルバー人材センターで「おさらい塾」はできないか
- 教育施策について
- 横田基地学校との交流について
- 石川和夫 議員
- 庁舎建設について
- 庁舎建設に対する考え方について
- 保育行政について
- 児童福祉法改正後の保育所の状況について
- 教育行政について
- ①理科教材の保管について
- ②課外クラブに外部指導員導入後の状況について
- 遠藤洋一 議員
- 横田基地について
- ①米空母キティホークの横須賀配備について

森田昌巳 議員

- 都市基盤整備について
- ①熊川駅周辺整備計画について
- ②シルク台地区整備計画について
- 小野沢久 議員
- 福祉のまちづくり条例の取り組みについて
- ①現状の取り組みについて
- ②市独自の条例制定、あるいは整備要綱、整備指針を定めることについて

組みである。また、教員経験を持つ委員の方々の意見や希望などいろいろあるので、こうした点を含め、シルバー人材センターで十分に検討、研究していただくようお願いすると

老朽化進む庁舎

今後の考え方は

石川和夫 議員

質問 新庁舎建設は、場所、財源等の問題から進展せず今日に至っている。築後三十五年たつ現庁舎は人口・事務量・職員増に加え事務室のスペース不足から事務室が各所に分散し、市民にとって決して利用しやすい施設とは言えない。特に障害者、高齢者に対する配慮もされておらず、さらに耐震診断では改築、または耐震補強が必要とのことであり、平成十二年度からの介護保険制度実施による保険と福祉の事務処理の一体化への対応などを含め、今後の考え方を伺いたい。また隣地の国際ホテル買収の要請に対し、市はどのように考えているのか。



▲長い年月のため老朽化が進む本庁舎

もに、市としてもこの結果を踏まえシルバー人材センターと協議をし、おさらい塾の実施ができるかどうかについて、その方向性を見出ししていきたい。

車いすで通行可能な歩道の状況は

遠藤洋一 議員

質問 七夕まつりには、たくさんの方が見えていた。市役所前の通り、福生駅西口駅前通りなどは車いすで通行が可能と思うが、そこに来るまではボランティアの皆さんや家族の方に車で送ってもらうなど大変だったと思う。どのくらい市内の歩道を車いすでの通行が可能か。



▲少ない車いすでの通行可能な歩道(大聖病院近くで)

例えば福生駅等から主要な公共施設まではどうか、歩道に交通安全標識等がある場合もあり、車いすで通行できる状態への改善方についても伺いたい。

医療行政の整備と充実を

吉沢嘉翁 議員

質問 ①福生病院の財源処置や都への援助要請は行ってきたが、二市一町医療圏内の移管後の位置づけがされていない。当市や二市一町の医療計画を早急に検討し、西多摩広域圏の福生病院の位置づけ、どのような医療体制の整備・充実が必要か等の課題について、どう考えるか伺いたい。

②医薬分業で病院隣接の調剤薬局があるが、病院の休日診療での処方箋による薬の受け取りが困難である。当市では調剤薬局三店の協力により、休日診療の処方箋調剤をしていただいているが、休日診療が保健センターに移転後、協力薬局が遠くなり不便となった。

休日・深夜診療所に薬局を設置できないか。



▲移管に向け、保健、医療、福祉のそれぞれの体制整備が必要

市長 ①公立病院は、民間医療機関との共存と連携の中で公立としての役割がある。福生病院の建て替えを視野に入れながら、保

○ホテル福生国際会館買収 ○駅前自転車等駐留場について
一連の経過について
○道路行政について
①都道五日市街道、牛浜郵便局付近の歩行者の安全について
②中福生陸橋の下、市道1137号線の行き止まり対策について
③五丁橋方向から熊川駅に向かう市道196号線の整備について

濱中輝夫 議員
○牛浜駅のホームへの階段と屋根の増設について
○ホテル公園の深井戸について
○信号機の設置について
○放置自転車の撤去と引き渡しについて
○電線の地中化について

松山 清 議員
○「周辺事態措置法」について
市長の見解を再度お聞きしたい
○夜間離着陸訓練について
①訓練の状況について
②空母の横須賀母港化に反対を表明すべきではないのか
○中学校デリバリーランチについて
①最近の利用状況について
②業者の変更ではなく、完全給食を実施すべきではないのか

沼崎満子 議員
○熊川・松原線の自由通路について
○本庁舎内に階段昇降機の設置について

原 敏子 議員
○介護保険法について
介護保険法実施までの福生市の準備と現状について

山下 進 議員
○七夕まつりについて
①竹飾りについて
②福生民踊パレードについて
③市民模擬店出店者について
○教育行政について
①不登校児の問題について
②LD児の対策について

声の市議会だよりをお届けします

目の不自由な方のために、市議会の活動内容を収録した「声の市議会だより・カセット」を発行しています。ご希望の方はお届けしますので、議会事務局までご連絡下さい。

551-1511 (内線512)

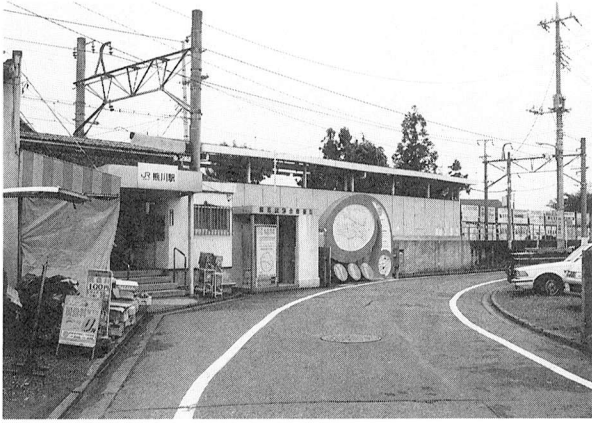
熊川駅周辺などの 都市基盤整備状況は

森田昌巳 議員

質問 ① JR五日市線複線化促進協議会から熊川駅周辺整備計画の中間報告が出され、生活都市東京構想による秋留台開発のもとで各地区において事業化が進められている。JR五日市線は複線化によって輸送力が増強し、利便性も高まり、福生市の玄関口である熊川駅は単なる通過駅ではなく、当市を印象づける駅でなくてはならないと思うが、熊川駅周辺整備計画はどのように進めていくのか。

② シルク台計画における宇宙科学館の建設は文化・福祉の拠点のシンボルであり、子供たちに夢と希望を与え、市のイメージアップ、活性化にふさわしい集客力のある公共施設であり、宇宙科学館あつてのシルク台地区計画であるが、誘致に向けての現状は。

市長 ① 中間報告では三案が示され、いずれも拝島・熊川間は複線の計画となっており、鉄道路地の増加は時間を要するこ



▲整備が望まれるJR五日市線熊川駅周辺

とが危惧されるので、今後の地元との協議をスムーズに進めるため、拝島・熊川間は単線で、相対式ホーム二面二線のような考え方も必要ではないかと考えている。早期に地元へ説明を行い、駅的位置、周辺整備について相談しながら方向性を出してまいりたい。

② シルク台計画における宇宙科学館の誘致については、これまで受け入れについて最大の努力をしてきた。昨年に引き続き、本年も十月七日には早期建設に向けての要望書を都知事を初め関係者に陳情する予定で、今後とも粘り強く要請してまいりたい。

どういう検討をしたのか、その内容はどうかだったのか、一連の経過を伺いたい。

市長 四月八日に所有者より土地・建物を含めて六億円で買収の要請があった。このホテルを庁舎として利用できれば経済的に大きなメリットになるかもしれないので検討することとし、議会へ報告し、五月一日に現地視察を行った。検討にあたっては、事務室としての改造が可能か、その場合、どの程度の床面積が確保できるか、構造的な面も含めて専門的な調査が必要なので改造調査の委託を行った。委託金額は百九十七万四千円である。調査の結果として、事務室への改造は可能で、面積も相当程度確保でき、改造費用は六億九千万円であり、四階以上を建替えると八億九千万円かかることと、買収費用とあわせて十五億円となり、取得の効果は低いと判断した。六月二十五日には将来の庁舎の全体的な整備構想の中で検討していくため、内部のプロジェクトチームを発足させて検討を行い、八月十日に最終的な方向づけが示された。結果として、ホテルを買収し、足りない分を現庁舎の前庭に建設する二棟方式の経済的メリットは少なく、前庭に新築する一棟方式の方が市民サービスや維持管理の面からも有利であることから、一棟方式での庁舎新築を推進する方がよいとの結論に至ったものである。

ホテル買収断念の一連の経過は

小野沢 久 議員

質問 ホテル福生国際会館買収の件は、大切な税金の使い道であり、大きな買い物で

あるので、市民も職員も議員も大いに関心を持ったが、なぜ検討することになったか、

南田園三丁目の十字路に 信号機の設置などについて

浜中輝夫 議員



▲経済的なメリット少なくホテル買収を断念

質問 南田園三丁目の「はいから屋」前の十字路は、最近非常に車が多く、歩行者は道路が横断できずに困っている。早急に信号機を設置していただきたいがどうか。

また、すぐ近くにあるホテル公園のはけの水は、水量が少なく、ホテルの養殖ができなないので、八十六メートルの

用は六億九千万円であり、四階以上を建替えると八億九千万円かかることと、買収費用とあわせて十五億円となり、取得の効果は低いと判断した。六月二十五日には将来の庁舎の全体的な整備構想の中で検討していくため、内部のプロジェクトチームを発足させて検討を行い、八月十日に最終的な方向づけが示された。結果として、ホテルを買収し、足りない分を現庁舎の前庭に建設する二棟方式の経済的メリットは少なく、前庭に新築する一棟方式の方が市民サービスや維持管理の面からも有利であることから、一棟方式での庁舎新築を推進する方がよいとの結論に至ったものである。

質問 ① 中学校でも完全給食をとの強い要望にもかかわらず、中学校給食の実施ではなく、業者弁当の販売を始めて二年が経過した。その弁当の販売は利用者が極端に少なく、市行政のねらいは完全に外れてしまったようであるが、最近の生徒のデリバリーランチの利用状況を伺いたい。

② 弁当業者を変更するとのことだが、業者の変更ではなく、完全給食を実施すべきだと思うが、見解を伺いたい。

教育長 ① 最近の利用状況は、本年二月に単品メニューから複数メニューに変更して

六カ月間実施してきたが、この間の三校の合計注文数は八百四十四個で、一日当たり平均十二個程度である。品目別内訳は、デリバリーランチが八十九・一％、おにぎりランチが七・一％、パンランチが三・八％である。複数メニューにしても注文数が前年より減少している要因としては、弁当を持参する生徒が増えたことや、予約注文という方法に問題があるかと思われるが、家庭の事情等で弁当を持参しない生徒がこの事業を利用しているため、引き続き実施してまいりたい。なお、

デリバリーランチ利用状況と 完全給食実施の考えは

松山 清 議員



▲交通量が激しい田園通り

心して快適に暮らせることは市民全体の願いであり、交通事故をなくすため福生警察署、福生市、交通安全推進委員会等においてそれぞれの立場で交通安全施設の整備、交通安全思想の普及・啓蒙、街頭での指導・取り締まりなどに取り組んでいる。信号機、停止線等の設置については福生警察署に要望書として提出しているが、道路交通法に基づく交通規制は東京都公安委員会によって決定されるので、

福生警察署から東京都公安委員会に提出され具体化されてくる。

南田園三丁目の「はいから屋」前の十字路については、以前にも人身事故が発生しているため、要望書の最優先設置箇所として要望している。また、ホテル公園の水については、災害対策上、これらの井戸等の利用を考慮する中で、参考までに水質検査を行ってみたいと考えている。

拜島駅自由通路の 早期設置を

沼崎満子 議員



▲利用者が増えないデリバリーランチ

質問 熊川・松原線歩道橋改良事業促進協議会が設置されているが、地域住民の要望である自由通路設置についてはどうなっているのか。

市長 一、現在までの経過は、平成三年五月に福生市、昭島市の協議機関として、促進協議会が発足し、道路築造に向け調査を進めていたが、実施設計のころから、JRから橋上駅と一本化した道路築造の話が持ち上がり、橋上駅の費用負担も含めた対応に

いるか、四、早期実現に向けてどう努力されるのか伺いたい。

一、現在までの経過は、平成三年五月に福生市、昭島市の協議機関として、促進協議会が発足し、道路築造に向け調査を進めていたが、実施設計のころから、JRから橋上駅と一本化した道路築造の話が持ち上がり、橋上駅の費用負担も含めた対応に



▲要望が強い南北への拜島駅自由通路



▲再整備され7月から有料化を実施

苦慮してきた。その後の促進協議会でも、両市が一丸となり建設に向け精力的に共同歩調をとり行動することを確認し、J R 等とも折衝を重ねてきたが、具体的な打開策を見出せず、以降、事務担当者会議を継続開催し、今後の進め方を協議している。二、促進協議会の開催は、現在のところ予定が立たない状況にある。三、地域住民の航空機事

有料化された 自転車等駐車場の現況は

原 敏子 議員

質問 自転車等駐車場が有料化され、財団に管理委託されて二カ月が経過した。有料化は、住民の多数の反対にもかかわらず、七月から実施されている。付近に放置自転車が增多との懸念どおり、増えているようであり、利用状況も当初見込みより落ちてきているようである。財団によるシルバー人材センターの方々の雇用状況も含めて、現在の自転車等駐車場の現況を伺いたい。

故等の際における避難路を確保する意味でも跨線橋道路建設は切実な問題としてとらえており、御不便は承知している。早期実現に向けて鋭意努力したい。四、J R は橋上駅建設とそれに伴う多額の費用負担を求めており、他の課題も含め、解決に向けてJ R を初め関係機関と折衝を重ねていく所存である。

車場の整備を行い、自転車、バイクの定期利用が四千四百台、一時使用が三百十九台で、合計四千四百十九台の収容可能台数となった。申し込みを受け付けた結果、定期利用の契約者は、自転車が二千三百九十五人で収容可能台数の六十四%、バイクが百三十四人で収容可能台数の三十九%となり、定期利用全体の利用率は六十二%である。定期利用契約者の内訳は、一般が千四百七十一人で五十八%、学生が九百八十三人で三十九%

なっている。生活保護受給資格者等の利用料免除申請者が七十五人の三%である。有料化後の放置自転車の状況は、昨年七月の撤去台数での比較では月に二百九十三台と約二倍に増加しており、今後とも放置防止には努力していきたい。

不登校児問題など 教育行政について

山下 進 議員

質問 ①不登校児の数が上昇しているが、より正常な学校になつてほしいので、その数に注視し、最近の数字を伺いたい。
②二中、三中に新規事業として校長退職者を教育相談員として配置したが、その後の状況を伺いたい。



▲相談ケースについて打ち合わせをする相談員(第二中学校にて)

③先月の新聞に、いじめや非行の低年齢化が問題になっている学校に教員を重点的に配置し、少人数学級が実現できる趣旨の中教審の学級編成基準の弾力化実施が載っていたが、教育委員会の受けとめ方と考え方を伺いたい。
教育長 ①平成十年度一学期末で、小学校三十日以上七名、このうち、五十日以上六名、中学校三十日以上二十八名、この内五十日以上二十名

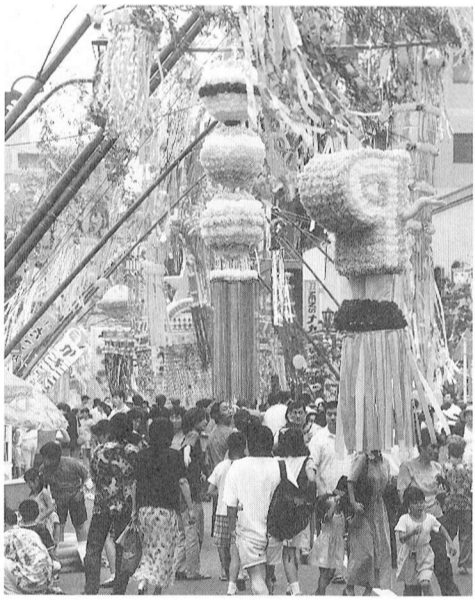
七夕まつり飾りつけなどに ついて

東田正治 議員

質問 ①今年の七夕まつりは、天候不順にもかかわらず三十一万人の人出があり、盛大に開催された。特にこの七夕まつりを盛り上げるために、その都度努力を重ねてこられた商店街の方々には、感謝する。福生駅西口駅前通りが整備されて、初めての七夕まつりであったが、飾りつけの支柱立ての位置についてトラブルがあったと聞いているが、どのような対策はどうか伺いたい。

置回数は週に一回から二回程度。配置される相談員は学校ごとに異なるニーズにあわせ、臨床心理士、教職志望大卒者の方とした。
②LDとは「ラーニングディスタビリティ」、学習障害の略称で、平仮名を書こうとしても形がうまくつけない、文はすらすら書けるが読めないなど学習・生活面で特別な

②市民の健康保持と健康づくりのため、あるいはコミュニティケーションの場として民間プールをシーズンオフに借り上げ、市民の健康管理に提供する考えはないか。
市長 ①七夕まつりの飾りつけの支柱立ては、西口駅前



▲毎年多くの人で賑わう「七夕まつり」

不登校児、LD児など 当市の現況と対策は

今林昌茂 議員

質問 ①過日、小中学校の不登校児が全国で十万人を超えた。文部省発表があった。教育関係者の努力にもかかわらず、



▲ケース会議をする教育相談員(市教育相談室にて)

教育長 ①平成九年度一学期で、小学校三十日以上二十名、このうち五十日以上は十四名、中学校三十日以上六十二名、このうち五十日以上四十七名である。対策は国、都、市それぞれの事業があるが、文部省主導の「心の教室相談員」について言えば、全国の四学級以上のすべての中学に本年十月から配置される。配

議会を傍聴しよう
次の定例会は12月2日(水)からの予定です。
本会議の傍聴はどなたでもできますので、お気軽にご参加ください。
くわしくは、議会事務局にお問い合わせ下さい。
☎551-1511 (内線 512)

委員会の審査から

今定例会の常任委員会では、付託された議案と陳情、及び継続となっていた陳情の審査が、九月十六日、十七日、十八日の三日間、建設・厚生・総務の順で行われました。また、議会運営委員会、今定例会に関し、八回行われました。ここでは、各委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

建設委員会

◎平成十年度福生市一般会計補正予算(第一号)

委員会に付託された所管分の質疑に対する答弁として、元氣を出せ商店街事業補助金の対象事業は、福生市商店街協同組合のハッピーフェスティバル事業外七件が対象で、補助金の交付は直接商業会へ交付するとの説明があり、原案どおり可決されました。

◎平成九年度福生市下水道事業会計決算認定について

委員の質疑に対する答弁として、下水道使用料の収入未済は、現年度分と滞納繰越分を合わせて六千三百三十七件で、うち、不納欠損は四百二十七件である。横田基地の下水道料金については、率では

約四十五%を占めている。

未水洗化は、平成九年度で七十三棟が水洗化や家屋の取壊しがされ、四百七棟が未水洗として残っている、との説明があり、原案どおり認定することに決まりました。

◎平成九年度福生市受託水道事業会計決算認定について

委員の質疑に対する答弁として、漏水調査は、音聴調査を延べ二十三キロ、各戸調査で三千四百三戸を実施した。有収率は八十九・七二%、不明水は十・二八%となっている。取水の状況は、都水の割合が三十四・二%、地区水の割合で六十五・八%の比率となっており、当市の水道水の残留塩素は〇・三PPMとの説明があり、原案どおり認定することに決まりました。

厚生委員会

◎福生市児童クラブ条例

児童の健全な育成を図ることを目的とする条例です。対象児童は、十歳未満の児童で、指導時間は、放課後から午後六時まで、育成料として一人につき月額四千円とするとの説明に起立採決したところ賛成多数で原案どおり可決されました。

◎平成十年度福生市一般会計補正予算(第二号)

委員の質問に、家庭用生ご

み処理機購入補助金は、八月まですでに五十台の申し込みがあり、今後百台を見込んでいるとの説明に原案どおり可決されました。

◎平成九年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

委員の質問に、加入世帯の平均は、人員一・八九人、年齢四十五・六歳、六十五歳以上の加入者は五千七百七十五人である。一般会計の繰入金は二十七市中二十位、医療給付費は二十六位との説明に原案どおり認定することに決しました。

◎平成九年度福生市老人保健医療特別会計決算認定について

委員の質問に、対象者人員は、平均四千四百六十六人、年齢は七十七・一歳、受診件数が十万一千二百九十三件で総医療費は約二十八億二千万円であるとの説明に起立採決したところ、賛成多数で認定するものと決定しました。この

総務委員会

◎平成十年度福生市一般会計補正予算(第一号)

委員会に付託された所管分の質疑に対する答弁として、市民税の特別減税は全体で、三億九千八百五十四万六千円であり、対象者は二万六千五百二十六人、一人当たり平均で、一万五千二百四十四円の減税額になる。地方交付税のうち普通交付税は額の確定により、当初予算と比較し六千四百九十二千円の増額となった。

また、心の教室相談員制度を十月一日から各中学校で実施し、相談業務を行っていく。

多摩川中央公園グラウンド整備工事は、建設省の了解が得られたので、整備工事として、内野部分を芝生から土に入れ替え、合わせてフェンスを設置するとの説明があり原案どおり可決されました。

◎多摩川排水区H-10その一

本工事は、制限付一般競争入札に十九の建設共同企業体に参加し、入札が行われました。契約金額は十七億二千七百二十五万円、工期は平成十三年三月三十日までです。委員の質問に、この工事場所は第二中学校と第六小学校の通路となっており、現場にはガードマン等を配置し安全に

は気をつけていきたいとの説明があり、原案どおり同意されました。

その外条例三件、陳情書十二件を審査しました。

外条例一件、平成十年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)、八件の陳情書を審査しました。

陳情

各委員会で審査された陳情の結果は、次のとおりです。

採択

◆陳情第九一二十七号 視覚障害者用交通信号機を設置するよう警察等に要望することを求める陳情書

◆陳情第九一十二号 住宅都市整備公社改革に際し、既存賃貸住宅居住者の居住安定の保障を求める意見書提出の陳情書

◆陳情第九一十三号 介護保険事業の策定に関する陳情書

◆陳情第九一十八号 「ものづくり」基盤技術振興基本

不採択

◆陳情第九一二十八号 市の公共施設へのわかりやすい名称をのしるした看板等の設置を求める陳情書

◆陳情第九一二十九号 市所在の公共施設への案内標識設置を求める陳情書

継続

◆陳情第八一九号 プラスチック製品の製造規制等を求める陳情書

◆陳情第九一十九号 アメリカの軍事行動に日本を自動的に参戦させる、「日米防衛指針」ガイドラインの見直しに反対する陳情書

◆陳情第九一三十四号 西多摩衛生組合周辺地域の土壌汚染の実態調査を求める陳情書

◆陳情第九一十一号 年金制度

法」の早期制定を求める陳情書

◆陳情第九一三三号 介護保険制度の準備・施行に関する陳情書

◆陳情第九一四号 さらなる医療制度改善に反対する意見書の採択を求める陳情書

◆陳情第九一五号 人間らしく生き、人間らしく働くことを根底から破壊する労働法制全面改善に反対する意見書の採択を求める陳情書

◆陳情第九一七号 医療制度の連続改善を求め、安心してかかる医療の充実を求める陳情書

◆陳情第九一八号 新ガイドラインに伴う有事法制化に反対する陳情書

◆陳情第九一九号 消費税の減税を求める陳情書

◆陳情第九一四号 「一刻も早く三十人学級の実現を求める意見書」の提出を求める陳情書

◆陳情第九一五号 消費税の減税を求める陳情書

◆陳情第九一六号 労働基準法改正案に反対する陳情書

◆陳情第九一七号 アメリカの軍事介入に日本を参戦

させる「周辺事態法」などの制定に反対する陳情書

◆陳情第九一九号 学校事務・栄養職員の給与費半額国庫負担等の義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書

◆陳情第九一二十号 介護保険に係る緊急な基盤整備と国の財政措置及び制度の抜本的改善を国に求める陳情書

◆陳情第九一二十一号 学校給食への自然食品(有機農産物など)使用促進に関する陳情書(本会議第七日目に総務委員会に付託)

◆陳情第九一十八号 「未臨界核実験」など、あらゆる形態の核実験に反対する意見書採択に関する陳情書

◆陳情第九一二十二号 アメリカの「未臨界核実験」の中止と、あらゆる形態の核実験禁止、核兵器廃絶の実現を求める意見書提出についての陳情書

審議未了

◆陳情第九一十八号 「未臨界核実験」など、あらゆる形態の核実験に反対する意見書採択に関する陳情書

◆陳情第九一二十二号 アメリカの「未臨界核実験」の中止と、あらゆる形態の核実験禁止、核兵器廃絶の実現を求める意見書提出についての陳情書

◆陳情第九一十七号 アメリカの軍事介入に日本を参戦

編集後記

議会の昼休みは、議員ほぼ全員が同じ部屋で、出前のそば、うどん、弁当などを食べます。もちろん自費です。弁当持参の議員もいます。議場での激論もちよつとブレイク、和気あいあいといっています。

議会での昼食を公費で出している市もあるようですが、福生市では十五年以上も前から、昼食は議員の自費です。議会運営委員長



▲付託された案件を審査する厚生委員会委員

特別委員会活動から

横田基地対策特別委員会

八月三日委員会を開催し、防衛補助事業等について、東京防衛施設局に要請運動をしました。

平成十一年度の事業内容としては、☆市道幹線Ⅱ一九号線外一舗装補修事業☆下の川緑地(仮称)新設事業☆消防ポンプ自動車設置(第三分団)☆一小、三小、五小、一中の

道路交通問題対策特別委員会

九月十四日の委員会では、首都圏中央連絡自動車道(圏

防音機能復旧事業の七事業で、平成十一年度で約四億二千六百万円の補助金を要望いたしました。また、横田基地での艦載機訓練の中止、調整交付金の増額等要望を行いました。

央道)の進捗状況について、青梅トンネル、友田トンネルの工事現場と、圏央道工事関係の展示施設である圏央道プラザの視察を行いました。現地視察の後、委員会として重点的に整備促進を行うとした路線のうち、東京都関係の都市計画道路三・四・三の二号路線の新五日市街道と、都市計画道路三・四・五号線の新奥多摩街道の二路線について東京都へ要請行動を行うことを決め、委員会を閉会しました。